

「2022年度活動報告」編集後記

2022年度は新型コロナウイルスのパンデミックから3年目に入り、変異株により感染拡大の波が訪れるたびに新規感染者が爆発的に増加し、医療提供体制がひっ迫しました。加えてウイルスが変異する度に感染力が強くなり、職員の感染も増えました。ピーク時にはコロナ感染と濃厚接触で職員の5%が勤務できない状況に陥りました。コロナ受け入れのための確保病床数を超える患者の受け入れと、コロナ病棟以外でコロナ患者を受け入れざるを得ない状況も幾度となく発生し、また医療提供体制が整わないことと受け入れるための病床がないことの両面で「災害モード」と位置付けて救急の受入制限をせざるを得ない状況にも陥りました。コロナの感染拡大の波が来るたびに、想定外の対応が迫られましたが、全職員の奮闘で乗り越えてきました。アートチームも知恵を絞って、職員の慰労企画に取り組み、職員が頑張るための大きな力になりました。大きなクラスターを起こさずにやってこれたのも集団で議論をして対策を徹底した全職員の力によるものです。

みみはらグループでは「みみはら2030年の樹」と銘打った事業計画の議論を開始しました。人生の全てのステージにおいて、誰もがその人らしい人生を送れるように、まちづくりの視点で事業を発展させて地域住民を支えていこうと提起しています。耳原総合病院は急性期病院として「治す医療」を担います。さらに四半世紀に及んだ債務超過を解消し、新たな峰として地域住民と全役職員の夢を実現させるプランとなります。無差別平等の立場で「みみはら」らしい地域包括ケアを具体化するため、地域住民を巻き込んで全職員参画で作り上げていきましょう。

2023年 8月

事務長 吉本和人

耳原総合病院活動報告 2022年度

発行 2023年11月

発行者 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院

事務長 吉本 和人

住所 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465

TEL 072-241-0501 FAX 072-244-3577

表紙デザイン：室野愛子ホスピタルアートディレクター
(当院所属)